

## メーデーの「思い出」

昨日 5 月 1 日は、水俣病「公式確認」から 60 年がたつ。これについては、日をあらためてレポートしたい。

5 月 1 日は「第 87 回メーデー」の日である。写真は今から 30 数年前のメーデーの日、会場の鶴舞公園グラウンド、そして街なかをデモ行進したときだ。名古屋市立女子短大の教員組合、略称「短大教組」は恒例の行事として、毎年メーデーに参加していた。



当時は重い木製プラカードを作り、それを持ってデモ行進した。重いプラカードを大学から運ぶ「役回り」をした。なんといっても若かった。黒々とした頭の毛が、5 月のメーデーの空に輝いていた。写真をよく見ると、懐かしい教員仲間の姿が見える。レポートでも紹介した「大先輩」の斎藤勇さんも。斎藤さんはメーデーの常連だ。列のなかに学生も見られる。この当時はまだ「自由な雰囲気」があり、メーデーの日を休講にして、学生に参加を呼びかけたものだ。

メーデーで忘れられないのが、デモのあとの「宴会」である。吹上のサッポロビール「洪養園」に行き、「打ち上げ」と称してビールをたっぷり飲んだ。ビール工場の出来立てのビールであり、とりわけデモのあとのビールは、とにかく美味しい。若かったこともあり、大ジョッキを何杯でも飲めた。デモに参加せず、早々と直接「洪養園」に向かう組合員もいたように思う。ここで自慢の？「寅さん」の歌を披露したこと、先輩たちと議論を繰り広げたことなど、懐かしい思い出だ。たっぷり飲んでから、斎藤さんらに連れられて、今池や池下に繰り出しことも記憶に残る。

短大教組で飲んでばかりいたわけではない。1979 年に短大に就職し、さっそく組合役員になった。その頃、名古屋市政を揺るがしていたのが、1988 年にオリンピックを名古屋に招致することであった。名古屋オリンピックには、財政やまちづくりの面から疑問に感じるが多かった。書記長をしていた時、組合大会で「名古屋オリンピックに異議あり」といった決議文を提案した。これをめぐって大激論した。なかなか意見がまとまらなかったが、文案を修正して、なんとか決議に持ち込んだと思う。その後に、水田洋・影山健・岡崎勝編『反オリンピック宣言』風媒社のなかで、組合の「経験」も活かして長めの論文を執筆した。

最近になり、名古屋オリンピック「騒動」について思い出すことも多い。また、レポートなどに書いていきたい。

(2016 年 5 月 2 日)